

メイヒュータイプのジョイントを採用した ロッドの販売を拡大！



コルクリートユーロドリル社は、これまで主にオーストラリアの鉱山や深井戸工事などに販売してきたメイヒュータイプのジョイントを採用したロッドを世界中に向けて販売することを決めました。

日本ではメイヒュータイプのジョイントはあまり知られていませんが、**図1**に示すようにAPI規格のジョイントよりも径が太く、丈夫であり、内径も大きいことから、より多くの水量を流すことができるそうです。

ロッドのジョイント部では、スパナ一部の切り欠きの影響で水流れが乱れ、**写真2、3**に示すように摩耗が促進されます。この弱点を補強するために開発されたのがメイヒュータイプのジョイントとのことです。

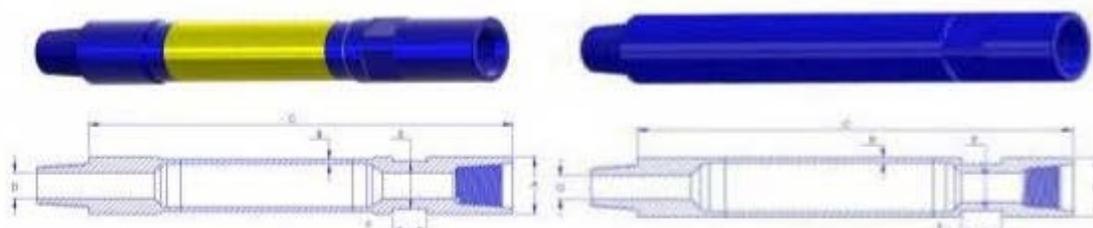


図1. メイフュージョイント(左)とAPI規格ジョイント(右)のロッド



写真1. API規格のロッドの摩耗状況



写真2. API規格ロッドのスパナ一部
摩耗状況